

必要性や効果を慎重に審査！

全員賛成で
可決

予算審査
特別委員会

3月6日
～
3月7日



予算審査特別委員会とは：重点事業の必要性や効果を確認し、
村の未来に資する予算かどうかを審査する特別委員会です。

地域おこし協力隊の受け入れと活用は

問 地域おこし協力隊はどのような人を受け入れていますか。

答 産業振興課長 令和7年度はワインの開発・販売・プロモーションを担う方を1人受け入れます。経費は特別交付税により全額補助され、地域のブランド力向上を目指します。

問 この制度を活用して、今後ほかの分野でも受け入れを行う予定はありますか。

答 産業振興課長 今回はワイナリーに特化していますが、本来は移住・定住促進の制度です。今後は農業のブランド化、空き家対策、観光振興など、他分野でも活用を検討してまいります。

保育料無償化は

問 保育料無償化の財源はどのように確保されていますか。

答 村長 補助金や交付税措置のある起債を活用し、また全体の予算を見直してスリム化することで実現しています。特定の事業を削って実施したわけではありません。

ウッドスタート事業は

問 ウッドスタート事業とはどのようなものですか。

答 健康保険課長 村で生まれた子どもたちに、木製のおもちゃなどを贈り、「木育」の観点から親子のふれあいや発達を支援する新事業です。森林環境譲与税を活用し、全額をまかいます。

第7次総合計画は

問 第7次総合計画策定費とはどのようなものですか。

答 企画財政課長 令和7年度は第6次総合計画の最終年度にあたるため、次期計画の策定に向けた委託料660万円を計上しています。村の将来像や施策の方向性を定める重要な計画です。

ミニ新幹線は

問 ふるさと公園のミニ新幹線はなぜ更新されるのですか。

答 産業振興課長 開園当初から使用しており老朽化しています。特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して更新し、子どもたちに引き続き楽しんでもらえるよう整備します。

ふれあい館の利用は

問 ふれあい館の無料券制度が変わったのはなぜですか。

答 住民生活課長 無料券制度を廃止し、1枚300円の割引が受けられる「優待券」に切り替えました。利用実績に基づき、必要分を計上し、村の財政負担を抑えながら継続利用できる仕組みにしています。

縁結び応援イベントは

問 縁結び応援イベントの内容と予算の内訳はどうですか。

答 住民生活課長 年3回の開催を予定し、1回あたり10万円の委託料、残り6万円は飲食などの費用として、合計36万円を計上しています。

M・Fさん

少子化問題が懸かれています。息子は、結婚は考えていますが、職場環境で出会いの場がありませんでした。今後、村のイベントに積極的に参加させていたいただきたいと思っています。



スクールロイヤー制度は

問 スクールロイヤー制度とは何ですか。

答 学校教育課長 弁護士による法的な助言や教職員研修などを通じて、子どもの権利を守る体制づくりを進めるものです。

創造の森の整備は

問 創造の森の整備が強化されると聞きましたが、どのような内容ですか。

答 産業振興課長 樹木の伐採や水道の漏水工事を行い、関東平野を望める景観整備を進めます。あわせて、キャンプ場使用料の見直しによって得られる増収分も、維持管理に充てる予定です。

図書ネットワークは

問 図書のネットワーク化はどのように進んでいますか。

答 生涯学習課長 村内の図書館と学校図書室の蔵書は登録済みで、令和7年度は貸出システムの本格稼働に向けた整備を行います。今後は各施設の蔵書の相互利用や返却にも対応予定です。



M・Sさん
システム整備で本が借りやすくなりました。南コミ1階の図書スペースは、階段を登らずに土足で気軽に立ち寄れて、読み聞かせもできて嬉しいです。



Iさん夫妻（さいたま市浦和区）
草刈りや清掃が行き届き、眺めも最高です。



T・Nさん（茨城県筑西市）
安くて温泉も近いですが、人気があって予約は取りづらいです。



創造の森キャンプ場

創造の森
ホームページへ



村へ要望事項を提出

令和7年度の予算執行及び村政運営について、特に下記の点について十分な配慮を賜りますよう、強く要望いたします。

- 一、しんタクの実証試験の結果を踏まえ、持続可能な地域公共交通の確保に向けた対策を講じて、村内の交通弱者への支援として、移動手段の確保を進めること。
- 一、防災倉庫の備蓄品を適切に管理し、防災訓練をより実践的な内容とすること等により、防災対策の充実を図ること。
- 一、公共施設の統廃合、機能移転に伴う管理体制の適正化を図ること。
- 一、地域おこし協力隊の多様な施策への活用を検討し、また、任期満了後の定住支援の強化や交付税返還リスクの回避を図ること。
- 一、縁結び応援イベントの拡大と充実を図ること。
- 一、保育料や給食費の無償化の財源確保策を検討し、長期運営計画を策定すること。
- 一、ウッドスタート事業では出来るだけ村内産・県内産木材を活用すること。
- 一、除却・リフォーム補助の制度をより利用しやすいものへ改善し、件数を増やすための対応策を検討すること。
- 一、図書館機能の充実と貸出・返却拠点の拡充について、今後の利便性向上を考慮し、段階的に整備を進めること。また、図書管理のデジタル化を円滑に行うため、システム更新や必要な備品の確保を適切に行うこと。
- 一、金利上昇の影響を考慮し、借入金の管理や財政調整基金などの今後の財政計画を慎重に行うこと。
- 一、公式LINEの運用強化や電子申請手続きの充実を行い、住民の利便性を向上させること。



要望書ってなに？

要望書は、議会が村民の声を集約し、行政に政策の改善や重点化を促すための重要な手段です。

行政とともに村づくりを進めるため、議会の意思を正式に伝える役割を果たします。